統計学 2

3. 記述統計とデータの可視化

矢内 勇生

2018年4月16日

高知工科大学経済・マネジメント学群

Rと誕生日問題

- 問題「40人の中に少なくとも1組同じ誕生日のペアがいる確率は?」
- R の pbirthday() で簡単に解ける
 - pbirthday(40)
- ・他の人数のときは?

全体の人数を変える

```
pbirthday(0)
pbirthday(1)
pbirthday(2)
. . .
pbirthday(366)
```

Rを使いこなせるようになると

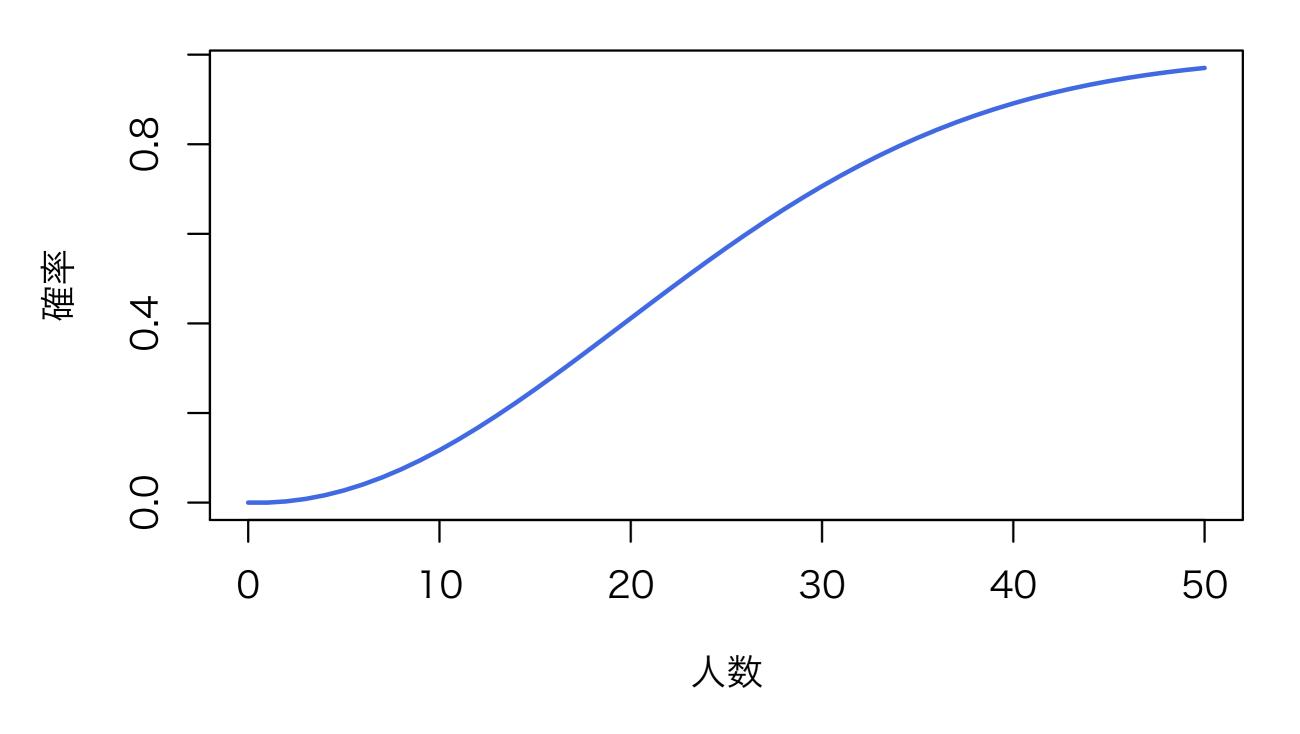
sapply(0:366, pbirthday)

• 1行で済む

・ 追加で以下を書くと

```
prob_pair <- sapply(0:50, pbirthday)
plot(0:50 prob_pair, type = "l", lwd = 2,
        col = "royalblue",
        main = "誕生日問題:少なくとも1組は同じ誕生日",
        xlab = "人数", ylab = "確率")
```

誕生日問題:少なくとも1組は同じ誕生日



今日の目標

- RStudioの基本操作を覚える!
- Rで基本的な統計量を計算する!
- Rで図を作ってみる!

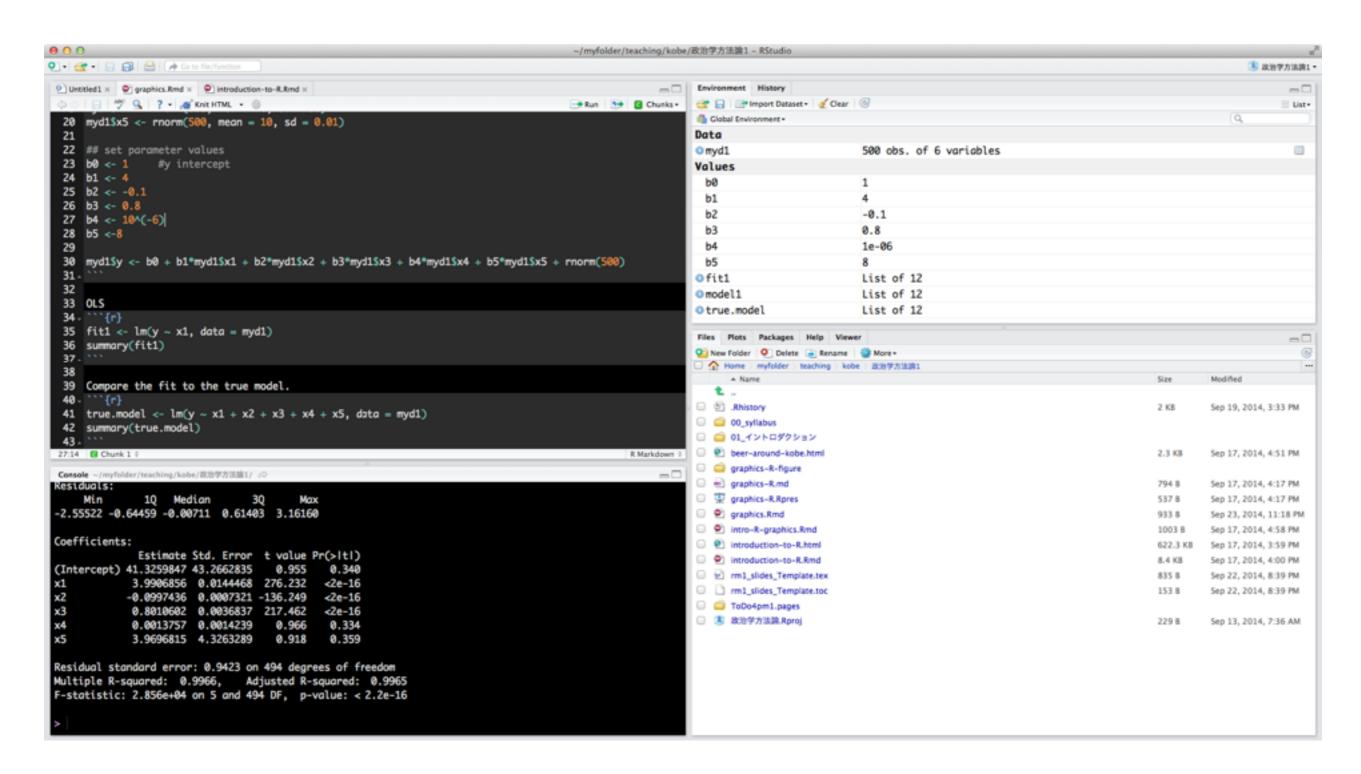
RStudioを利用する

• R用の統合開発環境 (IDE)



- RStudio も無料! http://www.rstudio.com/
- Rをより効率的に使える
 - 画面を4分割して必要な情報を表示
 - Project 機能で研究の管理を容易に
 - セッション中に作った図を遡って確認できる

RStudioのスクリーンショット



困ったときは

- Googleする
- Rjp Wiki を見る:
 - http://www.okadajp.org/RWiki/?RjpWiki
- コンピュータに詳しそうな友人に訊く
- メールで質問する
- オフィスアワーに来る

RStudio で R を使ってみよう!

- RStudioを開く
- 授業のWebページ
 - 「RStudio入門と記述統計」を一緒に進める
 - 授業後の自習課題:「<u>R入門</u>」を参考に、いろいろ 試してみよう!